

# WHO国際電磁界プロジェクト の動向

第14回WHO国際諮問委員会

開催日時:2009年6月11~12日

開催場所:WHOジュネーブ本部

大久保千代次

- 2006年に出された静電磁界の環境保健クライテリア (Static field EHC) を受けて、2009年4月に ICNIRP が静電磁界のガイドラインを見直し。これを Health Physics 誌に発表。日本語に訳されているので HP からダウンロード可能。

<http://www.icnirp.org/documents/statgdljap.pdf>

- 2007年に出された超低周波電磁界 (ELF、但し評価対象は100kHzまで) の EHC の発行を受けて、現在 ICNIRP がガイドラインの見直しを行っており、2009年末には新たなガイドラインを勧告する予定。

- 高周波(RF)電磁界(EMF)のリスク評価は、IARCが中心となって実施したINTERPHONE研究の第1報が5月に科学雑誌に投稿され、数ヶ月以内にはその結果が公表される予定。
- 当初予定していたリスク評価の日程が大幅に遅れているが、IARCによるRF-EMFへの発がん性評価のタスク会議が2011年2月に開催され、2011年内にモノグラフを発刊予定。
- 2006年に公表された高周波電磁界の研究計画の見直しを行うので、2009年内に専門家会議を開催、2010年に発表する予定。

- 各国の電磁界基準データベースの見直しを計画  
(例としてWHOのGlobal Database on Body Mass Index)
- インターフォン研究の結果が近々公表されるので、  
必要に応じてFact Sheetsの見直しを検討する。
- EMF-NETのHP(ホームページ)から2007年5月  
に開催されたリスクコミュニケーションワークショップ  
のプロシーディングズがダウンロード可能。  
[http://web.jrc.ec.europa.eu/emf-  
net/doc/publications/Book\\_Risk%20communication.pdf](http://web.jrc.ec.europa.eu/emf-net/doc/publications/Book_Risk%20communication.pdf)